

令和5年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立仲六郷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成 果

- ・教科書の資料やインターネットから見つけた資料を精選して活用する機会を設けたことで児童の関心・意欲を高めることができた。
- ・単元の導入では、単元目標やゴールイメージを児童と合意形成して学習したことで、学習が自分事となり主体的な学習となった。
- ・毎時間の学習感想や単元のまとめでは、学習内容に対する自分の考えを表現することができたことが成果である。(5、6年)

(2) 課 題

- ・既習事項の定着が課題である。
- ・社会科用語が定着していない。
- ・資料から読み取る力が弱く、情報を学習の中で効果的に活用できていない。(5年・6年)



2 大田区学習効果測定の結果について

(1) 達成率(同一集団の経年変化)

	令和5年度	令和4年度	令和3年度
第4学年	「安全なくらしー火事」の問題が4項目中2項目で目標値に達しておらず、課題がある。	・目標値をやや下回る。「地図記号」「安全なくらし」や「くらしの移り変わり」に課題がある。	・目標値を大きく下回る「くらしの移り変わり」に課題がある。
第5学年	・目標値を大きく下回る。特に「地図の見方」「都道府県の様子」に課題がある。	・目標値をやや下回る。「くらしをささえる水」「特色ある地域の様子」に課題がある。	・目標値をやや下回る。「ごみのしよりと活用」「先人の働き」に課題がある。
第6学年	・全ての項目で目標値を下回っている。特に「日本の工業生産」に課題がある。	・全ての項目で目標値を下回っている。特に「自然環境と国民生活」に課題がある。	・目標値にやや下回る。「日本の国土と人々のくらし」「工業生産と貿易」に課題がある。

(2) 令和5年度の結果分析(観点別)

・4学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・安全を守る働きについての工夫や仕組みの理解に課題がある。	・グラフや資料の読み取りの仕方が理解できておらず、資料を使った判断ができていない。	・「地図記号」の読み取りが苦手である。

・5学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・「都道府県の様子」が目標値を下回っている。既習事項の定着が課題である。	・グラフや資料から関連性を捉え、読み取っていく力がどの内容においても弱い。	・「地図の見方」を苦手としている。

・6学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・産業全般の知識が大変弱い。既習事項の定着が課題である。	・知識・技能面ほどではないが、資料を基に判断する力がやや弱い。	・記述問題になると無回答率が上がってしまう。 ・自ら考え、粘り強く取り組む力が必要である。

3 授業改善のポイント

・ 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
3 年 ・地図記号と名称が知識として定着するよう、小テストなどを繰り返し実施する。	3 年 ・自分の考えをまとめやすく、また分かりやすく発表することができるように、写真や地図などの提示資料を精選する。 ・学習したことをノートに書いたり考えを発表したり、アウトプットの活動を意図的に取り入れる。	3 年 ・ICT 機器や映像資料などを効果的に活用し、児童の関心・意欲を高める。 ・消防署見学や地域の特性を生かした授業を取り入れ、意欲的に学習に参加できるようにする。
4 年 ・ワークシートを活用し、既習内容の定着を図る。小テストなどを繰り返し行い、理解度を確認する。	4 年 ・新聞づくりやパンフレットづくりなど単元の最後に既習内容を活用したまとめを行う。また、教科書やインターネットから見つけた資料などを効果的に活用できるよう資料の精選を行う。	4 年 ・ICT 機器や映像資料を活用して児童が予想しやすい環境を整備する。 ・目的意識がをもって学習に取り組めるように、授業計画を立てる。

・ 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
5 年 ・重要語句を板書し、解説を行ったり、単元のまとめプリントを活用したりしながら、社会的用語を理解していく。 	5 年 ・ペアや小グループでの意見交換、話し合いを通して、自分の考えとの差異を見付け、様々な視点から物事を考えられるようにする。 ・地図帳や資料を授業や日常生活の中で活用し、資料から読み取る活動を多く取り入れる。	5 年 ・毎時間、学習した内容のキーワードをもとに、分かったことを自分の言葉でまとめる時間を設定する。 
6 年 ・単元後には、学習を振り返ることができるように復習を行い、既習事項が理解できているか確認する。 ・関連する掲示を常時行う。 ・おさえるべき、最重要社会科用語は確実に板書し、ノートに書かせる。	6 年 ・地図帳などの補助教材は常に身近に用意し、学習の中で意図的に活用していく。 ・資料の読み取りは、資料から何が分かるだけでなく、グラフや表の見方や考え方を意識させるようにしていく。	6 年 ・新聞、ポスター、カルタ、自作年表など単元のまとめ方を工夫する。まとめかたは単元の導入や中盤までに児童と合意形成を図り、単元の学習が自分事になるようにしていく。 ・タブレットドリルなどを活用して意欲をもたせる。